



“SINRAI Project” JICA 社会保険実施能力強化 プロジェクト Newsletter 第 24 号 2018 年 6 月

第 4 回本邦研修が行われました！

5 月 12 日～26 日にかけて、第四回目となる日本での研修が行われました。社会保険庁、ウランバートル市内および地方の社会保険事務所職員およびモンゴル労働・社会保障研究所から計 15 名の職員が参加しました。



年金事務所視察の様子

はじめに、京都武田病院を訪問し、当病院の社会保険事務を行っている社会保険労務士の役割について学びました。モンゴルには社会保険労務士という存在がないため、研修生から積極的な質問がなされました。また京都では、下京年金事務所の見学をしました。そこでは特に年金事務所における個人情報保護への配慮やお客様サービス向上のための取組みについて学びました。また、京都事務センターでは、年金事務所受付した書類の審査、入力、保管と受付後から処理完了までの事務を学びました。



接遇研修での発表の様子

社会保険事務所を訪れるお客様へのサービス向上は、今までプロジェクトでも取り組んできたところです。モンゴルでも講義をしてくださった菅谷先生による接遇研修にも参加し、モンゴルで撮影した接遇の様子を見ながら、更なる改善案を話し合いました。日本年金機構本部では、水島理事長を表敬訪問したほか、



日本年金機構訪問の様子

厚生年金未適用事業所の適用促進や中堅職員研修の内容について講義を受けました。



厚生労働省高橋年金管理審議官との意見交換の様子

厚生労働省では、高橋年金管理審議官を訪問したほか、佐

藤数理数理調整管理官から日本の年金制度を詳しく学びました。最後に国立社会保障・人口問題研究所において、人口推計、財政研修、年金数理の応用に関する講義に参加しました。二週間弱という長い研修でしたが、本当に皆様お疲れ様でした！そして、今後もモンゴルの将来のより良い年金実務や年金制度構築のため、一緒に協力していきましょう。

本邦研修発表会



発表をする研修参加者

5 月 29 日、日本での研修を終えた 15 名が、日本で何を学び、今後モンゴルで学んだことをどう生かしていきたいかについて資料を作成し、社会保険庁にて報告をしまし

た。

同報告会には、在モンゴル日本大使館の林次席、津下書記官、松橋書記官をはじめ、JICA モンゴル事務所からは田中所員、エルカ所員が参加をしてくださいました。社会保険庁から、サラン副長官、バトムフ副長官をはじめ、ガンツェツェグ局長、ダワーフー局長など幹部の皆様にご出席いただきました。

研修に参加した 15 名は、業務改善班、研修開発班、年金数理班の 3 チームに分かれて、それぞれ学んだことを発表しました。最後に大使館の林次席から暖かい講評を頂き、研修参加者は今後の活動に対して、更なるやる気がみなぎった素晴らしい時間となりました。



研修修了証授与式の様子

連載：草原の国の社会保障（第 24 話） “お客様を第一に考える組織づくり”

皆さま、こんにちは。今回は、私たち SINRAI プロジェクトが支援しているモンゴル社会保険庁のサービス改善事業についてお伝えします。

皆さんが利用するモンゴルの社会保険サービスは、いかがでしょうか。複雑な社会保険の内容を丁寧に教えてくれる、たくさんの人が並んでいるときに適切に誘導してくれる、今まで開いていなかった昼休みの時間帯も社会保険事務所は空いている、こうした変化が今、モンゴルの社会保険事務所で起きています。加入者・受給者を第一に考える社会保険事務所になろうという職員の皆さんの思いが、こうした変化に結びついています。

私たち SINRAI プロジェクトがモンゴル社会保険庁内にオフィスを構えて約 2 年が経ちました。モンゴル社会保険庁の職員の皆さんと、日本の年金制度や年金運営の実務と一緒に学びながら、モンゴルの社会保険サービスを良くするためにどうするか、お互い考えながら進めてきたのですが、どの職員も「社会保険サービスを良くしたい」との意欲があります。私たちは、こうした意欲のある社会保険サービスに携わる現場職員や社会保険事務所長はじめ幹部の皆さんに、日本での年金運営を直接見ていただき、改善を後押ししてきました。結果として、意欲のある現場職員、社会保険事務所長はじめとした幹部の方々が自ら考え、組織を動かし、新しい社会保険サービスの提供を行っています。

そこで、社会保険に加入する加入者の皆さん、年金を受給している受給者の皆さんにお願いがあります。社会保険に関して良い対応を受けた場合、ぜひ「ありがとう」と感謝の気持ちを職員にお伝えください。同時に、悪い対応を受けた場合もどの点が悪かったのか、詳しく教えてください。こうした皆さまからの声が明日の社会保険サービスの改善につながります。目指すは、モンゴルでお客様を第一に考える一番の組織になることです。そのためにも、皆さまの改善の声がもっとも大切です。

JICA チーフアドバイザー 山下 護

モンゴル年金数理の客員研究員が 国立社会保障・人口問題研究所で研究計画を発表

モンゴル社会保険庁政策実施・調査局調査課員のボディゲレルさんが、5 月 20 日から約 1 か月間、客員研究員として日本の国立社会保障・人口問題研究所で年金数理に関する研究活動を行っています。

5 月 23 日、研究所の皆さんに自身の研究計画を発表しました。一か月間、たくさんの事を吸収し、充実した研究生



研究の様子

活を送ることを祈っています。また、受け入れにご尽力いただきました国際関係部長の林様はじめ、国立社会保障・人口問題研究所の皆さまに改めて感謝申し上げます。



研究計画発表の様子

山下チーフのドルノゴビ県 社会保険事務所訪問

5 月 18 日、山下チーフはドルノゴビ県を訪問し、ドルノゴビ県の労働組合の方々および同県社会保険事務所と合同で社会保険に関する勉強会を行いました。平均寿命と平均余命の違い、若い国であるモンゴルも確実に高齢化していくこと、モンゴルが先進国になるためには中間所得層の創出が必要であることなど、データや日本の具体的な政策を示しながら説明しました。



皆さんの前で説明する山下チーフ

また、ドルノゴビ県社会保険事務所を視察し、日本の社会保険制度について、同事務所職員の皆さんに紹介をしました。その後、同県の業務改善の取組について意見交換

を行いました。JICA が昨年 11 月に開催した日本における研修に参加したガンオド氏は、同事務所のサービス室長に昇進し、日々の業務にますます一生懸命取り組んでいます。



ドルノゴビ県社会保険事務所職員の皆さん

SINRAI プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内
6 階 602 号室 電話 (FAX) 番号：(+976)-11-325125

公式 Facebook アカウント：Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

